

学生の外国語能力向上に関する取組等

【外国語教育の方針と学生の外国語能力向上のための取組】

1. 外国語能力の到達目標

修士課程においては、英語能力の高い留学生を増加させることによって、英語によるコミュニケーション環境を日常化し、そうした環境の下においても学生が協働して研究を進めていくことができるようなスキルや能力を養成することが目標となる。博士後期課程においては、国際学会で発表することを学位取得者の標準的なモデルとすることが目標となる。

2. 外国語能力を向上させるために実施する取組

修士課程においては、英語による授業のみで修了要件を満たすことができるようなカリキュラム編成を構想している。博士後期課程においては、英語による集団指導体制プラットフォームの拡充を含め、英語による学術的コミュニケーション環境の日常化に取り組んでいく。

【学生の国際性を涵養できた実例】

<実例 1>

学生 A は、大学院の課程に進学前に、まず研究生として 1 年間、英語による集団指導プラットフォームにおいて予備的研究を行い、英語による面接を取り入れた入学試験により博士後期課程に入学した。1 年次における英語研究の成果として、複数の国際学会での発表及び論文刊行を行い、論文発表に関しては当該国際学会において最優秀セッション研究発表賞および最優秀学生研究発表賞をダブル受賞した。その後も継続的に国際学会で口頭発表及び論文刊行の研究成果を挙げて、規定年限の入学後 3 年を経て博士学位を取得した直後に、海外大学の常勤講師として赴任し、若手国際派研究者として活躍中である。

<実例 2>

学生 B は本学院修士課程に入学後、HSI 科目、英語による実践科目の履修を経て、修士課程 2 年間において極めて良好な成績を挙げて、修了時には学院の表彰制度により優秀学生賞を受賞した。その後博士後期課程進学後にも、高度実践英語研究を積極的に履修して英語プレゼンテーション能力の向上に努めるとともに、博士後期課程 1 年次在学の現時点で国際雑誌に英語論文を投稿するなど、国際的なリーチで研究成果を発表しつつある。

<実例 3>

中国語を母語とする学生 C は本学院修士課程に入学後、HSI 科目を履修するとともに、英語でのディスカッションやプレゼンテーションの機会がある授業を聴講して、英語の学術的スキルの向上に努める一方で、修士課程在学中に複数の査読論文が中国の学術専門誌に採択された。博士後期課程進学後には、海外提携大学とのタンドム学習に基づいた国際交流プログラム科目および高度実践英語研究を積極的に履修して英語プレゼンテーション能力の向上に努めるとともに、博士後期課程 2 年次には海外の提携大学に長期留学して英語による研究を進めるべく準備している。今後、中国語、日本語、英語のトライリンガルな研究者として国際的な舞台で活躍することが見込まれている。